



Flash News

三重大学

第53号

目次

- 豊田学長が運営費交付金の配分方法に関する陳情のため上京
- 「産学官連携セミナー2007 in伊賀」の開催
- 附属病院の災害派遣医療チーム(DMAT)が三重県緊急広域搬送訓練に参加
- 学生企画のFMラジオ番組「Campus CUBE」始まる
- ISO14001認証取得が決定
- 「三重県-中国南京・瀋陽地域医療・健康・福祉産業ミッション2007」に参加
- 「第14回3大学国際ジョイントセミナー&シンポジウム2007」に参加
- 「みえ産学官研究交流フォーラム2007」
- インドネシア・スリウィジャヤ大学とポリコムで調印式
- 「アカデミック・ハラスメント防止講演会」を開催
- 「実験動物感謝式」を挙げる
- 津警察署による三重大生への学生安全対策セミナーを開催

お知らせ&ご報告

- 総務チームから
- 国際交流センターから

豊田学長が運営費交付金の配分方法に関する陳情のため上京

11月14日、豊田学長は、三重県の来年度の予算編成に向けた要望のため上京した野呂昭彦三重県知事ら一行に同行し、渡海文部科学大臣と面会、国立大学法人運営費交付金の適切な配分措置などについて陳情しました。野呂知事ら三重県の実務の方々や文部科学省と財務省に直接出向き、「国立大学は地域の人材養成の拠点としての役割など、地域の発展に大きく貢献しており、地方大学が果たす機能に配慮した運営費交付金の配分方法の見直しを求める」などの提言・要望書を提出し、本学の存在意義を訴えていただきました。

今回のことは、「地域に根ざす」ということをミッションに掲げている本学の地道な地域貢献活動が県民の方々にも認められつつあることの反映とも感じられ、心から感謝するものです。

「産学官連携セミナー2007 in伊賀」の開催

11月7日、本学は、三重県メディカルバレープロジェクトの支援を受けて標記セミナーを伊賀市で開催しました。このセミナーは、本学が伊賀地域の企業と共同研究の可能性を探ることを目的としたもので、豊田学長は「中部と関西の真ん中に位置する伊賀は、企業との共同研究を行うには恵まれた環境にある。地域の企業と連携して新産業育成や人材育成に貢献できる」と挨拶しました。続いて、中部大学の武田邦彦教授と本学の田口寛教授・生物資源学研究所より基調講演があり、140名の参加者は熱心に聞き入っていました。また、本学の前田広人教授・生物資源学研究所より、来年度設置が予定されている『三重大学伊賀研究拠点』の現時点での構想について説明があり、「大学は全力でこの構想を成功させたい」と意欲を披露しました。



附属病院の災害派遣医療チーム(DMAT)が三重県緊急広域搬送訓練に参加



11月19日、地震などの被災地に災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣する標記訓練が行われ、附属病院DMAT隊(武田多一救急部長他2名)が参加しました。今回の訓練は、三重県、岐阜県、第4管区海上保安本部、伊勢航空基地、高山赤十字病院と連携し、災害時における各機関の機能・役割の確認と、DMATを始めとする災害医療活動の検証を目的として実施されました。岐阜県北部で震度7の地震が発生し多数の死傷者が出たという想定で、附属病院DMAT隊員は、伊勢湾ヘリポートからヘリコプターで約200キロ離れた災害現場に急行。災害拠点病院である高山赤十字病院から模擬患者を収容し、無事、附属病院に搬送し終了しました。

学生企画のFMラジオ番組「Campus CUBE」始まる



10月5日より、本学、皇學館大学、鈴鹿国際大学が連携し、学生が主体となって企画運営する標記ラジオ番組がスタートしました。学生の視点から各大学の取り組み・活動・魅力を県民に発信し、大学の知名度をUPするとともに地域との連携を深めることを目的としています。また、学生が「放送する側」を体験することで様々なことを身につけてほしいと願っています。番組は、毎週金曜日20:30~20:55にFM三重で放送されています。ぜひ一度お聴き下さい。

ISO14001認証取得が決定

11月19日、本学はISO審査機関である(株)BSIジャパンからISO14001認証取得の決定通知を受けました。これは、「環境方針」や「自然と共生した環境先進大学 "MIEキャンパス" の創造」を宣言した環境ISO認証取得キックオフ大会(H18.2.21)以降、1年9ヶ月にわたり、環境ISO推進室と学生委員会が中心となって、学内を挙げて取り組んできた環境マネジメントシステム(ems)の構築や運営が、ISO規格要求事項に適合していることが証明されたものです。なお、「ISO14001認証授与式」が、12月11日(火)14:30~17:00に三翠ホール(小ホール)で行われる予定です。

「三重県—中国南京・瀋陽地域医療・健康・福祉産業ミッション2007」に参加

三重県が推進している「みえメディカルバレープロジェクト」の一環として、標記ミッション団が10月17日～10月24日の間、中国(南京・瀋陽地域)を訪問しました。三重県内企業、行政、大学関係者から成る派遣団27人(団長:田山雅敏三重県薬事工業会会長)は、それぞれの専門領域分野の機関を訪問し、国際産業交流や連携を深めるための意見交換を積極的に行いました。本学からは、副団長として奥村克純理事、荒木利芳教授・生物資源学研究所、西村訓弘教授・医学系研究科、西川政勝教授・医学系研究科が参加し、南京工業大学、瀋陽薬科大学などを訪問し、施設の見学と研究発表や教育・研究交流についての意見交換が行われました。

「第14回3大学国際ジョイントセミナー&シンポジウム2007」に参加

10月21日～27日、タイのチェンマイ大学がホストとなり同大学で開催された標記セミナー&シンポジウムに、本学から5学部の学生15名と教職員10名が参加しました。この行事は、学生らに国際会議での論文発表の機会を提供し、国際交流を深めることを目的に毎年ホスト大学3校が持ち回りで開催しているもので、今年は、人口、食糧、エネルギー、環境のテーマに加えてSufficiency Livingがホスト大学から提起され、学生全員が論文発表を行いました。教員も基調講演、ワークショップ、学外研修に参加するなど盛りだくさんのプログラムをこなして、盛況のうちに幕を閉じました。

「みえ産学官研究交流フォーラム2007」

11月9～10日、県内の高等研究機関の研究成果や産学官の取り組みを紹介する標記フォーラムが四日市ドームで開催されました。このイベントは、昨年度から三重県が主催する「リーディング産業展みえ」と同時開催で行われ、本年度は①企業が利用できる産学連携・人材教育制度の紹介②企業が利用・導入できる研究成果の紹介③大学・高専発ベンチャーの紹介の3つにテーマを明確化して展示を行いました。本学のブースでは、来場者から「分かり易くなった」、「昨年より面白い」などの声をいただくほど盛況で、産学官連携の推進に向けさらなる発展が期待されます。



インドネシア・スリウィジャヤ大学とポリコムで調印式

11月6日、学長室において、インドネシア・スリウィジャヤ大学との大学間協定調印式を、本学では初となるビデオ会議システム(ポリコム)で執り行いました。調印式には、学長、小林理事、江原准教授・生物資源学研究所が、スリウィジャヤ大学からはZainal学長、Rujito副学長をはじめ9学部長の出席があり、調印式後はスリウィジャヤ大学の各学部長を交え活発な意見交換等が行われ、交流を深めました。



「アカデミック・ハラスメント防止講演会」を開催

11月14日、人文学部は、東北大学高等教育開発推進センターの吉武清實教授(大学カウンセラー・臨床心理士)を迎え、「加害者も被害者も出さないために」というテーマで標記講演会を開催しました。具体的な例を交えながら、ハラスメントが起こった場合どのような影響があるのか、教員は具体的にどのような行為に気をつければよいのかなど大変有益なお話を聞かせていただきました。また、東北大学では申立てがあった場合、調整、調停、調査という制度を設けているという説明もあり、出席した理事3名からも本学の今後のあり方に大いに参考になるとの感想が聞かれました。

「実験動物感謝式」を挙げる

11月13日、生命科学支援センター(センター長:鈴木宏治教授)の主催で、医学の発展と生命科学の進歩のために供せられたマウスなどの小動物に感謝の念と敬意を表す標記感謝式が、医学部構内の医礎の庭において挙行されました。センター長の式辞に続き、動物実験に携わる全学の教職員・学生ら約90名が「実験動物慰霊碑」に献花を行いました。

津警察署による三重大生への学生安全対策セミナーを開催

11月21日、本学の寮生や女子学生を主な対象に、防犯・護身・交通安全等をテーマにした標記セミナーを開催しました。これは、本学周辺での盗難被害や不審者の目撃情報を受けて、学生が被害に遭うことがないように防犯意識の向上を目的に開催されたもので、津警察署の協力により「被害に遭わない方法」「遭ってしまったときの対処方法」など7名の女性警察官から講義していただきました。約40名の参加者らは、「みえ犯罪被害者総合支援センター」や「女性相談交番」等の紹介、犯罪や事故の実態についての説明や、実技を取り入れた護身術についての具体的な指導にも熱心に取り組み、とても有益なセミナーとなりました。

お知らせ&ご報告

総務チームから

10月22日より、学長ブログ「ある地方大学長のつばやき」を三重大学ホームページ上でスタートしました。ぜひご覧ください。<http://www.mie-u.ac.jp/blog/>

国際交流センターから

《「第1回三重大学国際交流週間」》

開催日: 12月5日～8日

参加者: 三重大学教職員・学生および県内在住者

費用: 無料

開催場所と内容: 総合研究棟IIFメディアホール(日英スピーチコンテスト、パネル展示、写真コンテスト、国際交流パーティ、共通教育120番教室(アジア映画上映会)

・10月30日、留学生ガイダンスがメディアホールで開催され、2007年4月以降の新渡日留学生約50名が参加しました。

投稿のお願い

各種事項(大学教育・研究、地域連携、国際交流、学内事業等)に関するフレッシュなニュースの提供をお待ちしています。

小林英雄(kobayashi@mie-u.ac.jp)または井上真理子(mariko-i@ab.mie-u.ac.jp)まで。場合によっては、取材に向きます。

《フレッシュニュースのバックナンバーは、三重大学ホームページ(<http://www.mie-u.ac.jp>)でご覧いただけます。》編集責任者/理事・事務局長 三浦春茂